

## 愛媛県政に関する世論調査の結果について

### 1 調査主題

SNSを利用した犯罪における少年の被害防止対策についての県民意識

### 2 調査目的

SNSを利用した少年の被害状況や対策についての県民の意識を知り、今後の周知方法等を考える参考とする。

### 3 調査設計

- 1) 調査地域 愛媛県全域
- 2) 調査対象 県内に居住する成人男女
- 3) 回答者数 400人
- 4) 調査方法 インターネットを利用したアンケート調査
- 5) 調査時期 令和5年12月6日～12月18日

### 4 概要

※問1～問11までは暴力団等に対する調査

問12 18歳未満の子供の有無

- ・18歳未満の子供を持つ回答者 20.7%  
→うち最多は未就学児の保護者 8.3%

問13 子供のスマートフォン所持

【18歳未満の子供を持つ保護者（83人）の回答】

- ・「子供専用のもんを持たせている」36.1%  
→小学生のうち23.1%、中学生のうち81.8%、高校生100%
- ・「家族のものを使わせている」4.8%

問14 子供のスマートフォン利用について困ったこと

【18歳未満の子供を持つ保護者（83人）の回答】

- ・「困ったことはない」50.6%  
→うち未就学児の保護者が最多。
- ・「利用時間」39.8%  
→小学生のうち53.8%、中学生のうち54.5%でともに最多。

問 15 子供の SNS 利用状況

【18歳未満の子供を持つ保護者（83人）の回答】

- ・「利用していない」42.2%
- ・「よく利用する」、「時々利用する」34.9%  
→小学生のうち30.8%、中学生のうち72.7%、高校生のうち81.8%。
- ・「知らない」16.9%  
→中学生・高校生とも18.2%

問 16 「フィルタリング」の周知と利用の状況

【18歳未満の子供を持つ保護者（83人）の回答】

- ・「知っているが利用していない」が最多43.4%  
→うち未就学児が最多41.7%。次いで小学生30.6%
- ・「全く知らない」15.7%  
→うち未就学児が最多53.8%、小学生30.8%、高校生18.2%。

問 17 SNS 利用による子供の被害の周知状況

- ・「よく知っている」26.3%
- ・「聞いたことはある」55.8%
- ・「知らない」18.0%  
→子供を持つ保護者にも「知らない」の回答あり。

問 18 子供の SNS 利用に関する被害防止に必要なこと

- ・「家庭での教育」が最多32.8%。次いで「保護者による管理」18.5%、  
「学校での教育」18.0%  
→18～29歳では「学校での教育」が最多37.3%、その他の年齢層では「家庭での教育」が最多。
- ・「警察による広報」2.3%
- ・「警察への相談」3.3%
- ・「取締り」6.0%

問 19 子供に安全な SNS 利用を伝えるのに最も効果的な人

- ・「保護者」が最多66.5%、次いで「警察」12.8%  
→全年齢層で「保護者」が圧倒的に最多。次いで18～29歳では「教師」、  
50代では「友達」、その他の年齢層では「警察」

問 20 情報入手の手段

- ・「インターネットニュース」が最多82.0%  
→多くの年齢層で最多だが、60～79歳ではテレビが最多。
- ・次いで「テレビ（ニュース、情報番組）」74.3%  
→18～29歳では「テレビ」と「SNS」が同数。
- ・3番目に「SNS・ブログ」30.5%  
→60代以上では新聞。

問 21 青少年健全育成推進ヒーロー「フィルタリングマン」の認知度

・「知らない」 92.5%

→60代以上、18歳未満の子供を持たない人に「聞いたことはある」が多い。